



エスペラント研究基金 (ESF) は、多文化な世界において言語的公正の理解と実践を促進するために活動しており、優れた学術、教育、異言語間コミュニケーションを発展させ、支援することをめざしています。基金の重点事項や価値は、言語に関連するさまざまな分野の研究者、教育者、活動家との意見交換によって形成されています。そこには、世界のエスペラント話者のつながりも含まれています。

重点事項

- エスペラントおよび異言語間コミュニケーションに関する学術研究や公共的議論の助成
- エスペラントの教育・学習の支援
- エスペラント、媒介言語論、言語政策・計画に関心をもつ世界の研究者のつながりの構築

50周年

1968年に創設されたESFは創設から半世紀を迎え、次の50年に目を向けています。ESFは、過去50年の実績をふまえて、今後とも、教育・研究を支えつづけていきます。

研究助成

ESFは研究者や大学院生の助成金申請を歓迎します。対象分野は言語計画、媒介言語論、国際的な言語政策、言語的公正、計画言語（エスペラントなど）です。

媒介言語論情報

『媒介言語論情報』は、媒介言語論に関する最新の展開に関心を持つすべての人のための、年4回刊行されるニューズレター（無料）です。受け取りたい方は、<ifi@esperantic.org>までご連絡ください。エスペラント版と英語版があります。

連絡先

研究：Angela Tellier <angela.tellier@esperantic.org>

一般：Charles Mays <admin@esperantic.org>